

ラジオコントロール技術

Radio Control Technique

座談会 / 新F3Aルールはこう飛ばす!



F3C対応 ヘリ用プロポ 三和インフィニティ1000H



- ムロールポ『ハイクオリティ・バルサ』
- スケールヘリ『ベル222の組立』
- オリジナル機『スカイビークル』
- RCボートへの招待/電動ボート
- マシンを斬る
F1スケール『フェラーリ643』

1992
APRIL

4

電波実験社



1992年度モデル・オブ・ザ・イヤーを受賞! 初級者にも楽しめる ミッドウエスト社の ムスタング

その年の最優秀キットを決める、おなじみモデル・オブ・ザ・イヤー賞。これは本誌にムロー・ルポを連載中のギィ・ルヴェル・ムロー氏らが1980年に創設したユニークな賞で、世界各国の雑誌社がその審査にあたっている（本誌も2年前から参加）。今回、栄えあるその賞に輝いたのが米ミッドウエスト社の「ムスタング」。写真の機体は編集部宛に送られてきたキットを、安藤由隆氏にお願いしてイエロームスタング風に仕上げてもらったものである。本機は同社の「サクセス・シリーズ」の中の1機で、その名のとおり初級クラスのモデラーが初めてスケール機を手掛けても、失敗せずに組立、飛行ができることを目的としている。オール・バルサ製のオーソドックスなキット内容であるが、製作は容易で、厚翼を採用しているために超低速でも失速しにくいなど、製作、飛行面で特筆すべき点が多い。

●テクニカル・データ 全長1070mm、全幅1300mm、主翼面積33.6dm²、全備重量2100g、エンジンOS FS-48サーバス、プロペラA PC装置フタバPCM1024A（4サーボ）。



- ↑ OS FS-48サーバスをIM製ラジアルマウントで搭載。排気管にドレン・パイプを固定し、エンジン内の余分なオイルは排気と一緒に吹き飛ばす。
- 尾輪はラダーと連動。リンケージ・パーツはMK製に変更した。
- ↓ 胴体中央のメカ室。3個のサーボは上からエンコン、ラダー、エレベーター用。



↑ 主翼中央部にエルロン・サーボを搭載。メイン・ギヤは固定式だが、脚カバー（キットはベニヤ製だが、本機は2mmアルミ板に変更）がスケール感の向上に一役かっている。

